

# 日新

苟日新 まこと ひ あら  
 苟に日に新たに  
 日日新 ひ ひ あら  
 日々に新たに  
 又日新 まだ ひ あら  
 又日に新たなり  
 出典「大学」

日新地区だより 55号



「ゆめ・につしん」は、平成 18 年 2 月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行：まちの未来づくり日新 広報部会  
 福井市文京5丁目1-8 日新公民館  
 発行日：令和 2 年(2020 年) 9 月 20 日

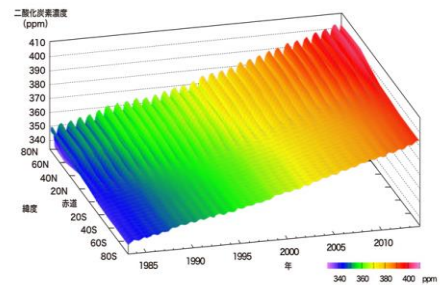
## 今年の異常な猛暑日は???

今年の夏は例年と違い異常な暑さが続いていると感じませんか？単に猛暑という言葉でひとまとめに片付けられないような気がします。8 月 17 日には浜松市で 41.1° を記録しました。日本でも気温 40° を超す日、それに迫る日が続いています。

この要因は地球温暖化・都市化のヒートアイランド・そしてチベット高気圧・太平洋高気圧の異常な停滞によるところが大きいと言われています。

温暖化は産業革命以来、化石燃料の石炭の使用が増え、大気中の二酸化炭素の濃度が上がってきたことから生じてきたものであると言われています。右に示した図は大気中の二酸化炭素の濃度の推移を示したものです。10 年で 20PPm (0.002%) の増加です。

大気中の二酸化炭素濃度の推移 (緯度別)



また、皮肉なことにヒートアイランドの現象も産業革命のときにロンドン市内で、ホームレスが冬場に多くなったことから発見されたと言われています。当時は冬に温かくなる現象は歓迎されたようであります。その後、田畑のところにコンクリートやアスファルトで固められた道路や建物ができ、気温が上昇、また「人工排熱」と呼ばれる、冷暖房機の室外機や交通機関によって排出される熱、あるいは工場や商業施設が機能することによって気温が上昇してきました。

今回の一番の要因はチベット・太平洋高気圧が2重構造になったことです。地上から 10 km 以上にわたって、この高気圧に覆われたことで雲ができにくくなり、直射日光が建物や地表で相互に反射する「多重反射」などが加わることで増幅され、そこに海風が加わり、陸地に海上から風が吹き込み更なる熱によって熱が生じ、気温が上昇しました。

右の表は福井県の 8 月(2014~2020 年)一日あたりの平均・最高・最低気温を計算したものです。平均気温と最高気温が少しずつ上昇していることが解かります。

年	日平均	日最高	日最低	最高	最低
2014	26.5	30.7	23.5	36.1	19.7
2015	26.9	31.8	23.5	36	20.1
2016	27.5	32.3	24	36.2	20.3
2017	27.3	31.7	23.8	36.9	20
2018	28.6	33.6	24.5	37.6	16
2019	28.2	33	24.6	37.3	19.8
2020	29	34	24.9	37.3	21.9

福井県の 8 月の平均温度 気象庁(国土交通省)

また、右下の表は福井気象台が「福井県の 21 世紀末の気候」と題して、地球温暖化が最も進行する場合の 100 年後の気温を予測発表しました。こんな最悪な事態にはならないと思いますが・・・

## !! ストップ・ザ・温暖化 !!

数年前までは夜になると幾分か気温が下がり、夕涼みと洒落込んだことでありました。ところがここ数年は夜になっても冷えなくなりました。

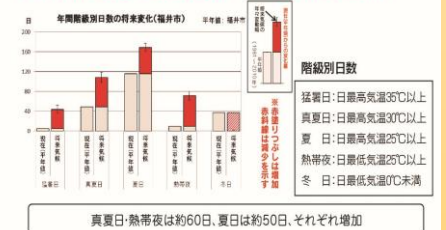
数年前に東京の女子大生が一斉に打ち水する運動を行ったとき気温が 1 度下がったという記事を思い出しました。

日新地区で

## 「一斉の打ち水日」の設定を

決めて行っては如何でしょう。ただ、打ち水の場合は撒く水が「井戸水・雨水」であります。井戸水や雨水の溜まり水を使うことは現実的ではないので、水道水を使ってもいいことにしなければならぬでしょうね。(野村)

### ▷ 福井市では猛暑日が100年で約40日増加



地球温暖化予測情報第9巻(福井地方気象台)より

## 第4回 日新ミソハギ花まつり

事務局 宇佐見光一

梅雨明けした8月2日に第4回ミソハギ花まつりが開催されました。天候は薄曇りでしたが、気温は33度と非常に暑い日でした。コロナ禍の中での開催ということで、ミソハギを鑑賞して頂くことを第一に考えました。開催時間は、午後3時から5時まで。テントは2張り。スタッフ等関係者は23名。受付は、検温・消毒を行い、テント前で蜜にならないよう足あとのイラストを貼りました。今年のミソハギの花は、底喰川の北側が少しまばらな咲きとなりましたが、南側がきれいに咲きました。ミソハギ鑑賞ラリー参加者は、103名と予定人数よりも少なかったのですが、コロナ禍のことを思えば、ちょうど良かったのかもしれません。今回も、開催にあたり清掃・美化等にご協力を頂いたみなさん本当にありがとうございました。来年は多くの方に来ていただけるよう、今年以上に準備させていただきます。



準備中



さあ～始まるよ



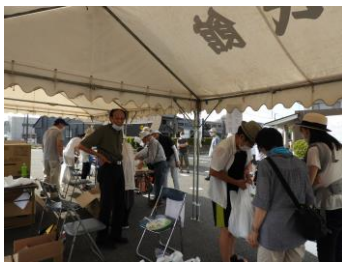
当たった！満面笑顔



咲き揃ったミソハギ



説明も軽やかに



テントの中は暑いなあ～



道路の花壇も綺麗ななあ～



本当にもらっていいの？



来年も参加しよう！

### 県内新型コロナウイルス感染者

#### 7月以降の推移

- 3月18日に県内で初めて新型コロナウイルス感染者を確認
- 7月12日 4/28(122人目の感染者)以来75日ぶりに県内で感染者を確認(通算123人目)
- 7月22日 国の「Go To トラベル」キャンペーンがスタート
- 7月30日 「福井県感染拡大注意報」発令

7月の感染者数 17人(通算139人)

- 8月22日 「福井県感染拡大注意報」延長
- 8月25日 7人・26日 6人・27日 13人
- 28日 16人・29日 5人
- 30日 11人・31日 6人

8月の感染者数 89人 通算228人

7月以降に感染が判明した89人の4割超を占め、カラオケ喫茶での感染拡大が鮮明となった。

9月10日(木)までとしていた「福井県感染拡大警報」

発令を、9月24日(木)まで延長



### コミュニティ道路って？

国家公務員宿舎の南側道路に「コミュニティ道路」と書かれた標識があります。この道路はいったいどんな道路なのかを調べてみました。すると、「コミュニティ道路」とは「自動車の通行を主たる目的としない道路」のことで、住宅地の道路整備手法の1つであります。地域の道路はその地域に住む人々のものであるという考え方に基づいて、生活道路から車を締め出し、歩行者の安全性や快適性を考慮した道づくりを目的として発足したものです」と書かれていました。要するに歩行者、自転車、低速の自動車などの交通のほか近隣住民の交流や子供の遊びなどに用いることができるということです。ただ、歩行者専用道路とは異なり自動車の通行が完全に禁止されるわけではなく、自動車交通を緩和抑制することのひとつでもあるそうです。



## 我が町の若者 20代と10代の2人の女性

### 街の文化人 (MAIさん)

山下 敬之



福井伝統工芸アイドル「さくらいと」のメンバーの一人である、MAIさんを紹介します。祖母が日新地区に在住なので、小さい頃から深い繋がりがあった事で今回の縁となりました。MAIさんは、小さい頃から芸能活動に興味があり、大阪の芸能関係の専門学校で学びました。途中で諦めそうになった時に、大好きな「西内まりやさん」との握手会で、「じゃあ、待ってるね！」と言われた事で、再び夢に向かって進む事ができ、「さくらいと」に出会う事になりました。

活動を通じて、越前和紙など様々な福井の伝統工芸を体験し、特に印象深かったのは「越前打ち刃物」との事。一から刃物を作るという体験は、触れ合った者にしかわからない面白さがあり、特に若い人にも体験してもらいたいと、これからの活動の方向が見えてきたようです。そして、作品を創り出す工芸士さんとの交流を通じ、人と人の繋がりがとても大切であると感じ、今後は工芸士さんとの対談企画などもやってみたいと意気込んでいます。

「福井の地酒を飲みながら、面白可笑しく魅力を伝えていけたら」とMAIさんは愛らしく笑いながら言っていました。

「現在、コロナ禍という環境の中ですが、マイナスに考えるのではなく、今はメンバー同士の絆を深める時期と捉え、未来に向かっての道筋を模索している。目指すは、新幹線福井開通までの3年間で日本のトップアイドルへ！」と抱負を語っています。

MAIさんの「福井を愛してます！！」という想いが、夢に向かって邁(MAI)進する原動力になっていると感じ、これからも応援していきたいと思います！

### 福井伝統工芸アイドル「さくらいと」

福井県は全国屈指の桜の県でもあり、「糸桜(いとざくら)」と呼ばれるしだれ桜の様に、人と人、地域と地域、価値と価値を繋ぎ咲かせていくという思いで「さくらいと」名付けられました。

また「咲く」+「ライト(光)」として光り輝きながら咲き誇っていくという願いも込められ



ハピテラスにて

ています。現在は、MAIさんの他に、KANAIEさん、WAKANAさんを合わせ3名で活動しています。

主な活動は、福井県内の伝統工芸を応援し、その魅力を世界中へ届けていく事であり、地域密着型のアイドルユニットとして、歌とダンスにも取り組んでいます。

2020年7月に2nd-Song「ヒカリのひとひら」が公開されています。一度聞いてみてください。

### 街のアスリート (橋本芽衣さん)

7月に行われた(柔道「一人打ち込み選手権」の大外刈り部門)で見事に優秀賞に輝いた日新小学校6年生(総斗會少年柔道クラブ所属・代表三上洋祐)の橋本芽衣さんを紹介합니다。橋本さんは柔道を習っていたお兄さんに感化され5歳から習い始めました。今も週5・6日クラブに通い、練習に励んでいます。橋本さんに聞いたところ「去年は全国大会出場者を決める県大会の軽量級で準優勝をしたので、今年の大会こそはとの思いで練習に打ち込んでいましたが、残念ながら今年の大会はコロナウイルス感染拡大により中止になってしまいました。こんな時『一人打ち込み選手権』を知り応募しました。」と答えていただきました。「一人打ち込み選手権」とは新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、様々な大会



橋本さんは上列中央  
総斗會の仲間

が中止。そこで過去のオリンピックメダリストの野村忠宏、篠原信一、井上康生、海老沼匡士さん達が企画し審査員を務め、相手と組み合えない状況でもひとりで行える「一人打ち込み」をオンラインで動画を投稿する大会を企画されたものです。種目は「背負い投げ」「大外刈り」「足払い」の3部門です。各部門上位3名が優秀賞で、橋本さんはその3名に選ばれました。最後に日新の皆さんへのお願いはありませんかと聞いたところ「中学生になっても柔道をしたいので是非、中学校に柔道部をつくってほしい！！」と哀願されました。叶えてあげたいものですね。

異常気象とコロナウイルス感染症対策で、環境部会で一番取り組んでいる「底喰川の清掃」活動に大きな苦戦を強いられています。このような状況で、今年度は小規模な「第4回ミソハギ花まつり」が開催されました。事前の作業は地区の方々に綺麗に咲き誇ったミソハギを觀賞していただく為に、より一層の除草、清掃作業(特に堤防のり面から垂れるアイビーの除去)に自然と身体が動いていました。やはり何事においても目標があるとやる気が出てくるものだと実感しました。



花まつり鑑賞会にはおよそ100名の地区の方々が参加していただきました。こんな折ですので皆さん、極めて慎重な行動を取っていると思われます。お陰様で、綺麗に咲きそろったミソハギを觀賞していただくことができました。底喰川の清掃活動には一人でも多くの方に関心を持っていただいて参加して頂くことこそが、きれいで明るい日新地区になる早道です。今後とも宜しくお願いします。

日新地区の皆さん、日頃は日新コミュニティバス運行事業に積極的な活用と応援に心よりお礼を申し上げます。ご存知のように、今年の2月からの新型コロナウイルス感染症により、バスの乗車実績が極端に低下しました。福井県では、8月後半に感染防止のための警戒レベル(赤)への引き上げにより「感染拡大警報」の発令もなされ、非常に収束も厳しい状況になるのではないのでしょうか。このような状況の中、福井市地域交通課と今後の対応についていろいろと議案に沿って意見の交換をさせていただきました。

下記の内容を現場の意見として要望をいたしました。

- その1 第三次運行査定を令和2年4月～令和3年3月迄を一年間の延期に変更(査定令和3.4～令和4.3)
- その2 現在の3つの約束事項の内容を部分的に改正を要求
- その3 現行の費用効率を抑えながら全体的事業の展開を図る(縮小均衡)
- その4 役所よりの指摘されたる事項に基づき現場での戦略、戦術を考える。

上記内容の事項を運行事業の支柱として積極的にお願いを図りたい

絶対にコミュニティバス運行の灯は消させない。



部会誕生(H22.4)以来、今年度で10年目を迎えるその節目として大きく飛躍を願うことと併せ、多岐に亘る企画内容等を検討するも残念ながら、コロナ感染症の拡大化に依り全ての事柄そしてその日々の生活様式の変化に社会活動の対応を余儀なく変わらざる負えない結果に至っています。

然しながら、これからの先行きにあってはワクチン特効薬に医療体制の完備に必ずや早期終息が見込まれるものと確信を致します。我々現場もその過程をしっかりと踏まえ、現事業の展開が現場により密着度を高め、住民に対し特に高齢者のみなさんには必要不可欠の事業となるべく、我々役員一同も今後更なる強力なる対応等を講じ推し進めたく思います。

是非とも地域のみなさまの応援をこれからもよろしくお願ひいたします。

前号ではコロナウイルス感染症拡大の経緯を書いていきましたが、今回も第二波の最中なので、引き続き8月末までの推移を載せました。また、9月になっても35度を超える猛暑日が続いています。「この気象変動はなぜ起きているのか?来年も続くのか?いつまで続くのか?」を考えたいと思います。



世の中がこの様な中でも当地区の「第4回ミソハギ花まつり」が開催できました。コロナウイルス感染症拡大渦中でも継続することで、来年・再来年と繋がることでしょう。また、日新地区の若者が頑張っている姿を紹介しました。

先ずは、今後、安全なコロナワクチンが出来てほしいですね。

